

学生地域定着推進広域連携協議会 令和2年度 活動報告書



登録学生 449 名

全 4 プログラム

活動述べ人数 42 名

目 次

1. 実施結果概要	03
2. 登録大学生の分析	
(1) 登録者の属性	05
(2) 登録人数・参加延べ人数	06
(3) 個人別の参加回数	07
(4) 登録学生の出身地	08
3. 実施プログラム概要	
・江別市	09
4. 成果と課題	11
参考資料～記述回答一覧	13

1. 活動概要

(1) 活動期間

- ・令和2年4月～令和3年3月

(2) 参加登録者数（令和3年3月31日時点）

- ・449名(内識別途記載)

(3) 学生の地域定着状況（令和2年度卒業生）

	在学大学	就職先 自治体	就職先	参加した地域活動 プログラム（主なもの）
学生①	酪農学園大学	江別市	NPO 法人	えべつまちづくりワークショップ
学生②	札幌学院大学	江別市	社会福祉法人	くりやまウィンターフェスティバル

(4) 活動内容

令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により各地のイベントを中止せざるを得ず、実施プログラム数の減少や学生の活動制限など、対面での活動が主となる当事業においても多方面の活動が制限される中、以下の活動をおこなった。

①実施プログラム

- ・4件（一覧は別途記載）

②広報活動

例年、各大学の新入学生を対象としたオリエンテーションの中で事業PRをおこない、新規登録者を確保できていたが、今年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響により、今年度は、以下の方法で広報活動をおこなった。

- ・公式ホームページのリニューアル
- ・広報用動画を作成し YouTube から配信
- ・公式 Instagram アカウントの投稿

③新規実施事業

- ・地域企業訪問受け入れ企業登録

令和2年度から、連携自治体や商工会議所等を介して、随時企業訪問プログラムに対応でき、新規の人材を必要とする、地域の優良企業等を掘り起し、学生の当該企業への訪問を促すことを目的に、登録企業の募集を実施し、登録企業のホームページの公開、学生への周知を行った。今後も、連携自治体に協力を仰ぎながら登録企業を募り、登録企業がまとまった段階で一覧にした冊子を作成し、ホームページに掲載、各大学の就職担当課に設置をお願いする。

- ・登録企業 10 社（令和3年3月31日時点）（下表記載）

NO.	地域	企業名
1	江別市	株式会社 ナラ工業
2		株式会社 石川組
3		社会福祉法人 長井学園
4		草野作工株式会社
5	赤平市	株式会社 ニッショウ
6		社会福祉法人 北海道光生舎
7		株式会社 いたがき
8	栗山町	株式会社 エクセルシャノン
9		松原産業株式会社
10	長沼町	株式会社 長沼あいす

2. 登録大学生の分析

(1)登録者の属性

①傾向

令和3年3月31日時点の登録者数は、4大学で449名(令和2年度以前の卒業者は除く)となった。所属大学及び性別の内訳は表2.1に示す通りである。登録者数は昨年度と比べて172名減少した。登録者の学年や登録者の推移はそれぞれ表2.2、表2.3に示す通りである。令和2年度の新規登録者数が以前の平均より大きく下がり、前年度より176名少ない38名となった。

②考察

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、授業が従来の対面からオンラインに切り替わり、新入学生対象のオリエンテーションのような学内でのPRの機会がなくなったこと、本事業の活動がなくなったことが、学生を募集する機会の喪失となり、登録者数が激減することとなった。

こういった状況の中で開催したNOPPOROイルミネーションプロジェクトの募集により札幌学院大学の学生を若干名確保することができた。

表 2.1 登録者数

	(人)			
	男	女	合計	%
酪農学園大学	92	88	180	40.1%
北翔大学	18	87	105	23.4%
札幌学院大学	75	60	135	30.1%
北海道情報大学	20	9	29	6.4%
総計	205	244	449	100.0%

表 2.2 登録者の学年

	(人)						
	1年	2年	3年	4年	大学院	不明	合計
酪農学園大学	0	22	65	92	1	0	180
北翔大学	0	27	34	44	0	0	105
札幌学院大学	16	26	49	43	1	0	135
北海道情報大学	1	7	7	14	0	0	29
総計	17	82	155	193	2	0	449

表 2.3 登録者数の推移

(人)

	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度
登録者数	305	466	596	621	449
(内新規登録者数)	(241)	(223)	(237)	(214)	(38)

(2)登録人数・参加延べ人数

①傾向

全 4 プログラムに参加した延べ人数を以下に整理する。

全登録人数に対する参加回数の比率を表 2.4 の「B/A」で表しているが、全登録者平均は 0.09 となっている。特に札幌学院大学の比率が高く、0.24 の数値を示した。

②考察

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、活動の自粛が続き、4 プログラムしか行えなかったこともあり、各項目が非常に少ない数値を示している。

表 2.4 登録人数及び参加延べ人数

	登録人数(A)	%	述べ日数(B)	%	B/A
酪農学園大学	180	40.1	4	9.5	0.02
北翔大学	105	23.4	1	2.4	0.01
札幌学院大学	135	30.1	32	76.2	0.24
北海道情報大学	29	6.4	5	11.9	0.17
総計	449	100.0	42	100.0	0.09

※延べ人数の計算：1 日毎に活動プログラムに参加した学生の合計人数

表 2.5 学年別登録人数及び活動人数

学年	登録人数	%	活動人数	%
1 年	17	3.79	10	24.39
2 年	82	18.26	14	34.15
3 年	155	34.52	16	39.02
4 年以上	195	43.43	1	2.44
不明	0	0.00	0	0.00
総計	449	100	41	100

(3)個人別の参加回数

①傾向

登録者のうち、令和2年度に1回でも活動に参加した人数は41名となった。登録者の約91%の408名は、一度も活動に参加していない結果となった。約9%にあたる41名は、1回以上プログラムに参加しているが、3回以上活動した参加者は0名となった。

②考察

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、4プログラムのみの実施となったが、1つプログラムに対して、非常に多くの学生に参加してもらうことができた。

未参加の学生が約9割になっているが、活動プログラムの減少に伴い、活動したいプログラムが無かったり、募集の締め切りで参加出来なかったり、活動を自粛していることが影響している。

図 2.1 参加した学生の参加回数と人数

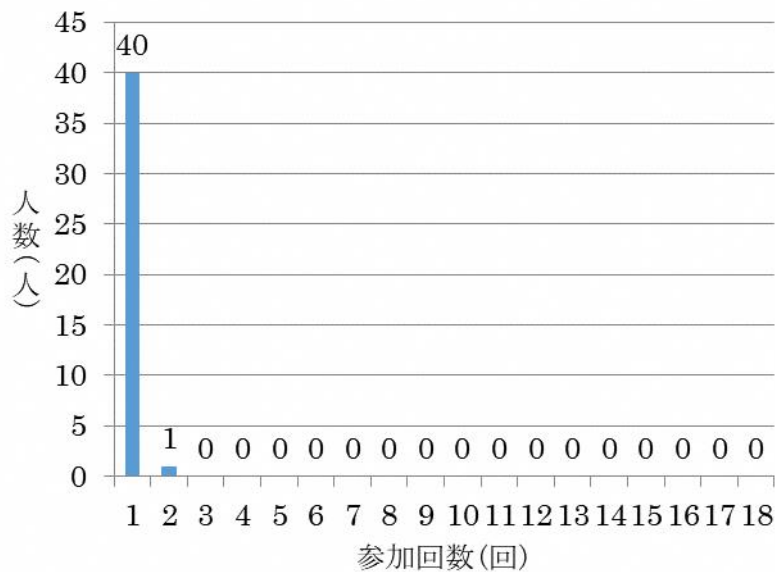


表 2.6 登録者数に占める参加者の割合

	人数(人)	登録者数に占める%	昨年度比
登録人数	449		0.72
未参加	408	90.9	1.05
1回以上参加者数	41	9.1	0.18
2回以上参加者数	1	0.2	0.01
3回以上参加者数	0	0.0	0.00

(4)登録学生の出身地

①傾向

登録者のうち、出身地のわかる学生 341 名について整理した。約 72%は道内出身であり、その内約 27%は札幌市出身となっている。江別市の 4 大学に在学する学生が対象ではあるが、江別市出身の学生は 7%程度となっている。

②考察

昨年度同様、江別市を除けば、当事業の活動対象地域の出身者はごく少数であり、この事業を通して初めて関わるケースが多いと思われる。

昨年度と比較すると北海道出身の割合が約 0.7%微増となり、依然として道内出身者が多い傾向にあるが、対象地域に住んでいる登録者は、11%にも満たない。また、約 28%の道外出身者にとっては、江別以外で初めて道内の自治体に関わるパターンも多くあり、一度のプログラムの関わりでも地域に強い印象を残せる可能性が高い。


表 2.7 登録学生の出身地


全国別			北海道内		
出身地	人数(人)	%	出身地	人数(人)	%
北海道	245	71.9%	札幌市	66	27.0%
青森県	8	2.3%	江別市	17	6.9%
東京都	7	2.0%	岩見沢市	14	5.7%
宮城県	7	2.0%	帯広市	13	5.3%
福島県	7	2.0%	函館市	8	3.3%
岩手県	7	2.0%	北見市	8	3.3%
大阪府	6	1.8%	小樽市	7	2.9%
福岡県	6	1.8%	南幌町	3	1.2%
埼玉県	4	1.2%	長沼町	2	0.8%
愛知県	4	1.2%	芦別市	2	0.8%
群馬県	4	1.2%	赤平市	1	0.4%
その他	36	10.6%	三笠市	1	0.4%
合計	341	100.0%	由仁町	0	0.0%
			その他	103	42.0%
			合計	245	100.0%


※未記入数：108 人

3. 実施プログラム

【江別市】

事業名	NOPPORO イルミネーションプロジェクト	
日程	2020/10/31 (土)	
のべ人数	23	
概要	12月～3月に野幌駅に点灯するNOPPOROイルミネーション設置作業を補助	

事業名	大麻銀座商店街ブックストリート (2020年10月)	
日程	2020/10/31 (土)	
のべ人数	8	
概要	大麻銀座商店街で行うブックストリート会場の設営・撤収、本の販売の補助など	

事業名	本庁舎及び市民会館の耐震化に関わるワークショップ	
日程	2020/11/19 (木)	
のべ人数	10	
概要	江別市の本庁舎と市民会館の耐震化にあたり、建て替えや改修、新しい市庁舎に求めるもの等に関するワークショップをZoomでオンライン参加。	

事業名	草野作工株式会社 会社説明会
日程	2021/3/18 (木)
のべ人数	1
概要	草野作工株式会社ของบริษัท概要や業務の内容、業界の事などの説明、実際の工事現場の見学。



4. 成果と課題

(1) 大学生

成果	課題
<p>活動評価書結果</p> <p>学生の活動評価書の結果では「今後も参加したいか」の回答に、昨年度より 5%多い、88%の回答者が参加したいと回答した。</p> <p>実施したプログラムも募集人数より多く集まったものが多く、昨年度よりも参加者の参加意欲がとても高く、活動自粛によりプログラムを待ち望んでいる声も多く見られた。</p>	<p>学生への周知</p> <p>今年度は、大学へ従来のように周知する機会を失い、登録する学生が大きく減少することとなった。特に1年生への周知方法が少なく、来年度に向けた学生への確保に向けて、PR動画を製作し、大学へ配布、オンライン配信していただいた。今後も、これにより多くの学生に対して、ジモガクの周知、参加を広めるようにする。</p> <p>また、一部ゼミなどでは対面授業も行っているため、より多くPRの機会を得られるよう努める。</p>

(2) 受入地域

成果	課題
<p>企業登録の実施</p> <p>今年度より、学生の地域定着を促進させるために、気軽に企業訪問を出来るよう、インターンシップやバスツアーだけではなく、都度、企業を訪問できる仕組みを作り、企業訪問ページをホームページで公開した。ページには企業で公開している動画なども埋め込み、企業をより知ることが出来るようなページにしてある。登録学生には企業訪問の周知も行った。各地域の企業に働きかけ、今年度は4地域、10社の地元企業を登録した。</p>	<p>プログラムの充実</p> <p>今年度、活動プログラムを実施できた市町村は、江別市のみとなり、他の地域でのプログラムを募集することができなかった。</p> <p>より多くのプログラムを充実させるため、各自治体とより密な連携を図り、少人数、小規模のプログラムやオンラインなどでの遠隔対応の検討を要する。</p> <p>今後もより学生の地元企業への就職を目指せるように、訪問できる企業の充実も図り、来年度は10社以上の企業登録を行う予定となっているほか、オンラインで企業説明を受けられるよう、対象となる企業を増やしていく努力を行っていく。</p>

(3) 運営

成果	課題
<p>広報媒体の充実</p> <p>今年度よりジモガクの説明動画を作成し、Youtube から配信した。</p> <p>上記の説明動画を組み込むなど、公式 HP をより学生に親しみを持てるよう大幅に改修した。さらに、それぞれ申込フォームを設置し、より学生が各プログラムへ気軽に参加申し込みをしやすい体制を整えた。</p> <p>また、学生がアクセスしやすい SNS での広報として、Instagram と Facebook、Twitter を並行して運用を進めている。</p>	<p>コロナ禍での運営</p> <p>新型コロナウイルス感染症への影響は続き、次年度も各自治体のイベントの中止や、大学の対面授業停止や学生の地域活動自粛等が起きる可能性がある。</p> <p>オンラインで出来る活動を増やすなど、コロナ禍でも行えるように ZOOM を活用した自治体や企業の説明会を行い、また、参加へのハードルを下げるため、自治体や企業の PR 動画の作成を行いホームページに公開する方法を模索し、各大学や、各自治体とも打合せを行い、活動方法を広げていく必要がある。</p>

